

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立鯉江東小学校

令和8年4月

大阪市立鯉江東小学校 令和8年度 運営に関する計画

1 学校運営の中期目標（令和8年度から11年度末）

現状と課題

- 全国学力・学習状況調査において全教科で全市平均を超えている。今後も日々の学習において、主体的に対話的な深い学びの場の充実を図る。
- ICT機器の活用を図った授業づくりに取り組んできた。
- 児童の学校評価アンケートでは友達と話していますかに対して「当てはまらない」と回答している児童の割合が少なくないことから、学習や自分についての自信のなさがうかがえる。
- 学習規律や家庭学習の習慣は身につけてきている。しかし、家庭での生活では、携帯電話やゲーム機の使用について両項目での長時間使用が目立った。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、総合的な運動能力に課題がある。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動に関する意識は、男女ともに否定的な回答が目立つ。外遊びや体を動かすことが嫌い・苦手と思っている児童が多いのも課題である。
- いじめや不登校の問題において、解決すべき課題はあるが、保護者や関係機関と連携して取り組んでいる。

中期目標

【安心・安全な教育の推進】

- 小学校経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を各年度90%以上を維持する。

【1：安全・安心な教育環境の実現】

- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【2：豊かな心の育成】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、大阪市総合正答率合計に対する総合正答率4割以下の児童をいずれの学年も令和11年度目標に3ポイント減少させる。

【4：誰一人取り残さない学力の向上】

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【5：体力・運動能力向上のための取組の推進】

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和11年度にむけて学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりするといった対話的・協動的な学習形態を進めることで、各種アンケートによる「授業の内容がよくわかる」「学習が楽しい」といった肯定的な回答が80%を超えるようにする。

【6：教育DXの推進】

- 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を令和11年度にむけて減少させる。

【7：人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安心・安全な教育の推進】

○ 小学校経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【1：安全・安心な教育環境の実現】

○ 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【2：豊かな心の育成】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【4：誰一人取り残さない学力の向上】

○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

【5：体力・運動能力向上のための取組の推進】

【学びを支える教育環境の充実】

○ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【6：教育DXの推進】

○ 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下とする。

【7：人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

大阪市立鯉江東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安心・安全な教育の推進】</p> <p>○ 小学校経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 【1：安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 【2：豊かな心の育成】</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容</p> <p>①学びの場の効率的な活用について検討するとともに、不登校児童に対する対応を学校として一律化するようにする。</p> <p>②学校安心ルールに基づき、いじめの早期発見、早期対応に努めるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>①不登校対応においては、生活指導部会では話し合いの場を、職員連絡会後には共通理解をする場を、少なくとも10回以上行うようにする。</p> <p>②校内アンケートにおける「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して肯定的な回答をする児童の割合を100%にする。また、否定的な回答をした児童に対しては、個別に聞き取りを行い、必要に応じて指導を行うようにする。</p>	
<p>取組内容</p> <p>○ 自尊感情の向上を図るとともに、異学年によるグループ活動や行事を通して心の交流を深め、お互いに思いやる気持ちを育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童に対する校内アンケートの「自分のことが好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 児童に対する校内アンケートの「たてわり班やつどい組等を通して、友だちや違う学年の人とも仲良くできていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 	

大阪市立鯉江東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p style="text-align: center;">【4：誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <p style="text-align: center;">【5：体力・運動能力向上のための取組の推進】</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	<p>進捗状況</p>
<p>取組内容 発問を工夫し、話し合いを通して考えを深めたり、新たな考えに気付いたりする授業づくりを行う。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標 ・校内アンケートにおける「友達と話し合うことは好きですか」「話し合いを通して、新しい考えに気付くことができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ・学習の中で、理由を問う発問や比較する発問を取り入れ、考えを比べたり理由を説明したりする活動を行う。 ・各学級において、個人で考える時間やペア、グループでの話し合いの場面を設定した授業づくりを推進する。 ・話型を取り入れた指導を行い、理由を伴った発言や友達の意見を受けて話す場面の充実に努める。</p>	
<p>取組内容 ・年間を通して子どもの体力、運動能力向上のための取り組みの充実を図る。 ・食事の大切さに関心をもてるよう、食に関する指導を計画的に行う。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標 ・全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度よりも1ポイント向上させる。 ・校内児童アンケートの「給食を残さず食べていますか」の項目において、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。</p>	

大阪市立鯉江東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 【6：教育DXの推進】</p> <p>○ 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下とする。 【7：人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容 低学年ではSKYMENUを活用して成果物や写真を共有し、中学年ではTeamsやClassroomでのタイピングや思考ツールを用いた意見の整理・比較を、高学年ではクラウド環境での共同編集に取り組む。</p> <hr/> <p>指標 校内アンケートを実施し、各項目において肯定的な回答を80%以上にする。 低学年「パソコンで、友だちと作品を見ながら感想を伝え合うことができましたか。」 中学年「キーボードで文字を入力して、自分の考えをあらわし、友だちと伝え合うことができましたか。」 高学年「グループで編集したり、意見を書きこんだりして、1つのファイルを完成させることができましたか。」</p>	
<p>取組内容 ・教員の1か月あたりの時間外勤務時間が30時間以下になる教員を5割以上にするために、ゆとりの日を設定したり、業務内容を精査したりする。</p> <hr/> <p>指標 ・勤務情報システム内にある時間外勤務実績を月末に確認し、働き方を振り返る。 ・ゆとりの日を設定したり、会議の時間を短縮したりする。</p>	